



認証番号0009936

有限会社 山尾熔接所

2023年度 環境経営レポート

(対象期間:2022年11月1日~2023年10月31日)



発行日: 2023年12月19日
改訂日: 2024年 2月29日

環境経営方針

<環境経営理念>

山尾熔接所は、創業70年の歴史の中で、周辺環境をはじめとし、移り変わる自然環境に危機感を覚え、「環境に配慮したモノづくり」は企業の社会的責任に位置づけられると認識しています。

加工金属製品の製造・販売を主とする事業活動において、経営における課題とチャンス定期的に明確化し、自主的・積極的に、環境負荷低減を図り、持続可能な社会の実現に向け全社一丸となって、環境への取組を推進します。

<環境保全への行動指針>

- 1 . 環境保全を推進すべく、エコアクション21に準拠した環境マネジメントシステムを構築し、継続的改善を図ります。
- 2 . 環境に関連する法律、条例及び協定等において、要求事項を遵守し、環境汚染の予防に努めます。
- 3 . 二酸化炭素(CO₂)排出量の削減を推進します。(電気、ガソリン、軽油 他)
- 4 . 廃棄物の適正な処理及び、排出量の削減と再生利用を推進します。
- 5 . 水使用量の削減を推進します。
- 6 . 化学物質の適正管理を推進します。
- 7 . 環境に配慮した製品の製造及び販売を推進します。
- 8 . この環境方針を全従業員に周知徹底すると共に、社外にも公開します。
- 9 . 経営における課題とチャンスの明確化とその推進。

制定日： 2013年5月23日

改定日： 2024年1月25日

(有)山尾熔接所
代表取締役社長

山尾 茂幸

取組の対象組織・活動

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

会社名 有限会社 山尾熔接所
代表取締役社長 山尾 茂幸

(2) 所在地

本 社 〒670-0836 兵庫県姫路市神屋町2丁目59
花田工場 〒671-0252 兵庫県姫路市花田町加納原田519-1

(3) 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先

責任者 専務取締役 山尾 悠造 TEL:079-251-1212
担当者 業務係 中塚 梨恵 FAX:079-251-1213

E-mail:gyoumu@yamao-ys.co.jp

(4) 事業内容

金属加工全般(溶接、機械、組立加工等)

主要製品:大型空調機用配管、高精度パイプフレーム製缶、他

(5) 事業の規模

	本社工場	花田 第一工場	花田 第二工場
従業員 (人)	3	30	5
延べ床面積(m ²)	561	1,395	674

エコアクション21対象従業員数(本社、花田第一工場、花田第二工場) 38名

(6) 事業年度 11月～翌年10月

□認証・登録の対象組織・活動

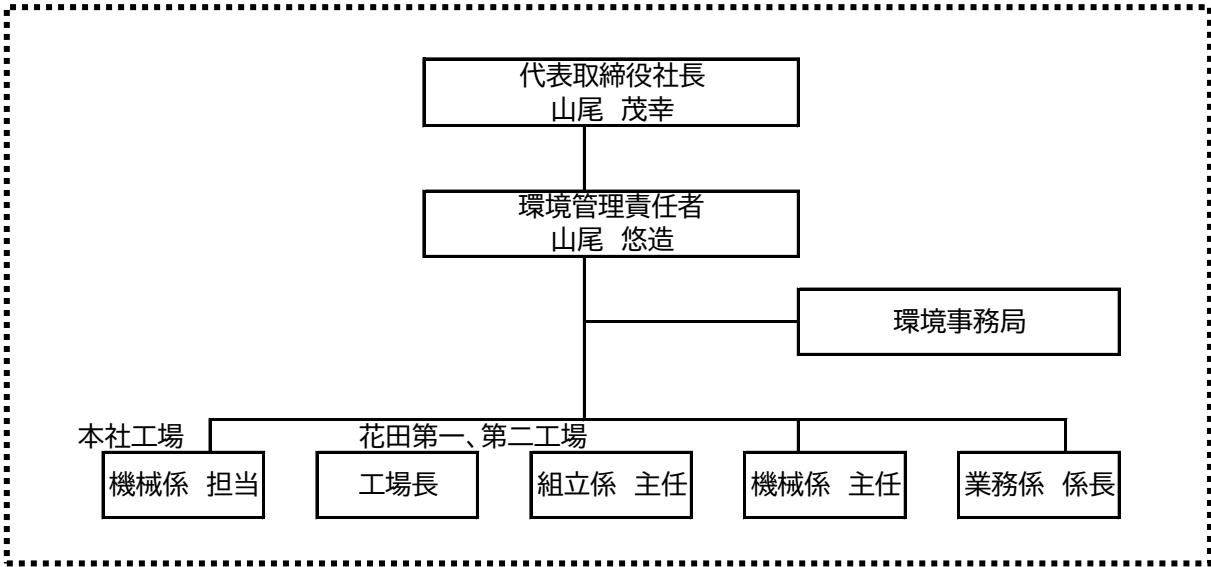
登録事業者名: 有限会社 山尾熔接所

対象事業所: 本社工場

花田第一工場、花田第二工場

活動: 金属加工全般(溶接、機械、組立加工等)

有限会社 山尾熔接所 実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表取締役社長	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 効果的で必要十分な実施体制の構築 環境管理責任者の任命及び各自の役割・責任・権限を定め全従業員へ周知 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 経営における課題とチャンス の明確化 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 環境教育訓練計画の作成と実施の管理 環境経営レポートの作成、公開(事務所への備付けと地域事務局への送付)
部門長 工場長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の運用管理 緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2022年度 基準年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	79,890	68,501	67,875	79,890	73,006
電力	kWh	110,318	91,509	106,742	110,318	106,783
ガソリン	L	6,075	6,840	7,784	6,075	6,087
軽油	L	6,302	4,493	5,223	6,302	4,219
灯油	L	1,704	1,242	1,380	1,704	1,715
廃棄物排出量	kg	8,550	8,165	7,461	8,550	8,108
一般廃棄物	kg	3,928	4,547	4,513	3,928	4,098
産業廃棄物	kg	4,623	3,618	2,948	4,623	4,010
水使用量	m ³	572	439	518	572	564
化学物質	kg	128	32	32	128	64

※CO₂合計には、都市ガス・アセチレン(溶断用)・CO₂(溶接用)は含まれています。

※別記使用量 都市ガス：914Nm³ ・ アセチレン：21.6kg ・ 溶接用CO₂：4,200kg

※主要化学物質 トルエン ・ キシレン ・ エチルベンゼン

□環境経営目標及びその実績

(1)中長期目標

年度		2022年度 基準年度	2023年度	2024年度	2025年度
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂	79,890	79,157	78,425	77,692
			(△1%)	(△2%)	(△3%)
電力使用量削減	kWh	110,318	109,215	108,112	107,008
	kg-CO ₂	38,611	38,225	37,839	37,453
	対基準		△1%	△2%	△3%
ガソリン 使用量削減	L	6,075	6,014	5,953	5,893
	kg-CO ₂	14,104	13,963	13,822	13,681
	対基準		△1%	△2%	△3%
軽油 使用量削減	L	6,302	6,239	6,176	6,113
	kg-CO ₂	16,291	16,128	15,965	15,802
	対基準		△1%	△2%	△3%
灯油 使用量削減	L	1,704	1,687	1,670	1,653
	kg-CO ₂	4,242	4,199	4,157	4,114
	対基準		△1%	△2%	△3%
II. 廃棄物排出量	kg	8,550	8,465	8,379	8,294
	対基準		△1%	△2%	△3%
一般廃棄物 削減	kg	3,928	3,888	3,849	3,810
	対基準		△1%	△2%	△3%
産業廃棄物 削減	kg	4,623	4,576	4,530	4,484
	対基準		△1%	△2%	△3%
III. 水使用量	m ³	572	566	561	555
削減	対基準		△1%	△2%	△3%
IV. 化学物質の 適正管理	kg	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
	対基準				
V. 製品への環境 配慮	件	10	12	13	14
	対基準		+2件	+3件	+4件

注1)電力の二酸化炭素排出係数は、関西電力公表の2020年度実績の調整後排出係数0.350kg-CO₂/kWhを使用。

(2)2023年度の実績

項目 \ 年度		基準	2023年度の実績			
		2022年度	(2022年11月～2023年10月)			
			目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂	79,890	79,157	73,006	108.4%	○
	対基準		△1%	△9%		
電力使用量削減	kWh	110,318	109,215	106,783	102.3%	○
	kg-CO ₂	38,611	38,225	37,374		
	対基準		△1%	△3%		
ガソリン 使用量削減	L	6,075	6,014	6,087	98.8%	△
	kg-CO ₂	14,104	13,963	14,132		
	対基準		△1%	-△0.2%		
軽油 使用量削減	L	6,302	6,239	4,219	147.9%	○
	kg-CO ₂	16,291	16,128	10,907		
	対基準		△1%	△33%		
灯油 使用量削減	L	1,704	1,687	1,715	98.4%	△
	kg-CO ₃	4,242	4,199	4,269		
	対基準		△1%	-△1%		
II. 廃棄物排出量	kg	8,550	8,465	8,108	104.4%	○
	対基準		△1%	△4%		
一般廃棄物 削減	kg	3,928	3,888	4,098	94.9%	△
	対基準		△1%	-△5%		
産業廃棄物 削減	kg	4,623	4,576	4,010	114.1%	○
	対基準		△1%	△12%		
III. 水使用量削減	m ³	572	566	564	100.4%	○
	対基準		△1%	△0%		
IV. 化学物質の 適正管理	kg	適正管理	適正管理	適正管理	-	○
V. 製品への環境 配慮	件	10	12	12	100.0%	○

注1) 評価欄にて、○:達成、△:やや未達成(100%未満～90%以上)、×:未達成

注2) 産業廃棄物の大部分は、溶接スラグ、溶接ワイヤ用空スプールで、現状再生不可。

V. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画(取組内容)
二酸化炭素排出量の削減		
目標達成		
・下記の通り。	○	
電力使用量の削減		
目標達成		
・事務所エアコン温度の適正化(冷房28℃暖房20℃)	◎	適正実施しており、継続実施。
・使用頻度の低い場所については使用時のみの点灯とし、不要照	◎	適正実施しており、継続実施。
・その他の節電運動の継続。	○	その他の節電運動の継続。
ガソリン使用量の削減		
目標未達成		
・アイドリングストップの実施	○	エコドライブの継続。
・冷暖房抑制	○	適正実施しており、継続。
・移動コースの効率化	○	移動コースの効率化の継続。
・エコドライブの継続	○	エコドライブの継続。
軽油使用量の削減		
目標達成		
・アイドリングストップの実施	○	もっと意識をしてエコドライブを実行する。
・冷暖房抑制	○	適正実施しており、継続。
・移動コースの効率化	○	移動コースの効率化の継続。
・エコドライブの継続	○	エコドライブの継続。
灯油使用量の削減		
目標未達成		
・節減暖房の継続	○	節減暖房の継続
・重ね着をする等のウォームビズを取り入れ、ストーブの使用を抑制。	○	重ね着をする等のウォームビズを取り入れ、ストーブの使用を抑制。
一般廃棄物の削減		
目標未達成		
・分別回収ボックスにより、ゴミの分別の徹底。	○	分別は出来ており、継続実施。
産業廃棄物の削減		
目標達成		
・分別回収ボックスにより、ゴミの分別の徹底。	○	分別は出来ており、継続実施。
水使用量の削減		
目標達成		
・節水利用の励行(水の垂れ流し禁止及び効率の良い水の利用)	○	節水利用の継続
化学物質の適正管理		
目標達成		
・種類、使用量、保管量、使用方法、使用場所、保管場所等を把握し、記録、管理する。	○	適正管理方法の継続。
・化学物質の安全性に関する情報伝達のためのSDS(化学物質安全性データシート)を使用する。	○	
・有害性の恐れのある化学物質の表示を徹底する。	○	
環境に適した製品の販売		
目標達成		
・客先との打ち合わせの中で、環境に取り組んだ製品やその製造プロセスを共に検討し、環境に配慮したモノづくりに取組む。	○	客先との打ち合わせの中で、環境に取り組んだ製品やその製造プロセスを共に検討し、環境に配慮した品目数増加に取り組む。また、社内打ち合わせにおいても、定期的に議題として挙げ環境に配慮した製品造りに取り組む。

VI. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守すべき要求事項	遵守評価
姫路市公害防止条例	一般工場等の届出、事故時の報告	遵守
騒音規制法	特定施設の届出、規制基準の遵守	遵守
振動規制法	特定施設の届出、規制基準の遵守	遵守
廃棄物処理法	保管基準の遵守 産廃廃棄物保管場所の所定掲示板の設置 飛散・飛散防止・囲い設置 一般廃棄物/産業廃棄物収集運搬・処分業者との適正な契約 マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
家電リサイクル法	特定家電4品目の適正な事業者(家電販売店)への引き渡し	遵守
自動車リサイクル法	使用済自動車の適正な事業者(引取登録事業者)への引き渡し	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の簡易点検と記録 漏洩防止 廃棄時の適切な処理	遵守
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	性状及び取扱いに関する情報(SDS)の受取	遵守
消防法	避難訓練の実施 消火設備・火災警報設備の点検整備 避難設備の維持	遵守
姫路市火災予防条例	指定数量未満の危険物の取扱	遵守
高圧ガス保安法	施設、設備の技術基準への適合 定期自主検査の実施、記録の保存	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規への違反はありません。

なお、関係当局より違反等の指摘はありません。

VII. 代表者による全体の評価と見直し・指示

前回のレポートにおいては、当社第二工場の竣工・稼働を目標値に織り込まなかったことで、未達が多い結果となりました。

今期は、反省も兼ね、前期をベースに目標値の見直しを実施して臨みました。

さて、今期を振り返り、仕事量の増加に加えて、夏は各地で観測史上最高気温を更新するほど暑い日が多かったように思います。

その中において、大半の項目で達成できたことは、本取り組みに対する全社的な理解と、環境事務局の努力の成果と見ています。

今後も継続して取り組んで参ります。

項目	見直し要否	見直し内容
環境経営方針	否	-
環境経営目標	否	-
環境経営計画	否	-
実施体制	否	-
その他	否	-

2023年12月19日
代表取締役社長 山尾 茂幸

□環境活動の紹介



エコアクション21掲示版



ゴミの分別



《省エネ》 花田工場天井 LED照明



《節水》 節水励行掲示